

(別添3)

## 【大分県 杵築市】

### 校務DX計画

#### ○校務DX化の現状及び今後について

校務DX化の現状について、現状は以下の通りである。

- ・ 県内統一で導入を行った統合型校務支援システムを使用することによって、広域異動等された教職員の負担軽減を図っている。
- ・ メッセージや出退勤の記録が出来るグループウェアを活用し、教育委員会からの通知に限らず、学校内でもペーパーレス化及び負担軽減を図っている。
- ・ 市内共有のファイルサーバを使用して、グループウェアでのやり取りに限らず提出や様式等の共有を行っている。
- ・ 保護者との双方向連絡ツールを導入しており、保護者とのやり取りに係る時間の短縮を目指している。
- ・ オンライン型研修を取り入れ、学校に居ながら研修を受けることを行っている。
- ・ AIドリルを活用している。

「GIGAスクール構想の下での校務の情報化に関する専門家会議」の提言や「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト」による自己点検の結果等を勘案し、チェックリストに示されている、教育委員会及び学校が教育DXを推進するにあたり、課題は以下の通りである。

- ・ 教育現場に沿ったセキュリティポリシーの策定が出来ていないことから、自治体のセキュリティポリシーとは別に、教育委員会独自のセキュリティポリシー策定を目指す。このことにより、学校現場への対応及び理解促進が図れる。
- ・ 校務におけるAI技術の取入れについて、検討を進める。
- ・ ネットワークが校務系および教育系にて分かれていることから、今後の教職員の働き方を想像し、ネットワークの統合やいわゆるゼロトラストの考え方の導入について、県内他市町村の動向を確認しつつ、検討を進めていく。